

FM79.7MHz 京都三条ラジオカフェ
第158回 番組審議会

開催日時：2023年10月26日（木）10：30～11：30

会場：ラジオカフェ事務所、Zoom 併用

委員：中村正、岡本卓也、岡田芳宏、岡田真彰、隅井美沙子、ジェフ・バーグランド

欠席：福井秀彦

事務局：藤本香

ゲスト：「真夜中のオープンダイアログ」<https://radiocafe.jp/20220904/>

毎週日曜日 深夜 1:00-1:09（9分番組）

制作者：対話之町京都ヲ目指ス上京 おぼっちゃん@京都（小畑あきら）

■2023年10月29日の放送回を聴いて審議に入った

・内容がまとまっていて、声のトーン、音も耳触りが良い。真夜中に聴くのにぴったり。
→「死にたい」と口にする人に関わる機会が多い。特に多くなるのは、日曜日の夜。なので、その日曜夜にうっかり届くことを考えてこの放送日時にした。対象を限定したり「～という人に向けて送ります」と言ったりしないと決めている。収録は昼間に行っている為、カーテンを閉めて真夜中の雰囲気ですすよう心掛けている。

・語尾の「ね」が多い回もあった。また、初めて聴く人は、開催予定の「イベントゲスト」を「番組ゲスト」と勘違いする。「置きベン」も「置き勉」「置き弁当」と勘違いする。言葉のその辺りの工夫は必要。短くても毎回決まった番組趣旨、構成があると良いのでは

→言葉は伝わりやすいよう工夫したい。「置きベン」活動は諸地域・海外でもあるので、言葉も広まると良いなと考えている。以前はエンディングも統一していたが、作成者(統合失調症当事者)のもので全部のフレーズを届けたく、最近4パターン聴いてもらえるよう変更したという経緯がある

→それを番組でも言ってはどうか。

・アカデミックな内容。別日放送の「コミュニティをつくるとそこから排除される存在もできてしまう」という話は、自分のコミュニティに対する理解が深まった。コンセプトが良い。上京区のベンチに座るといふ具体から、ノルウェーやイタリアの精神医学といった普遍に変わる。

・まちづくりとは「その人がいる安心」だと思う。この活動をすごいと思ったしこれが番組になるとは、という思い。この番組を聴いて元気になる人がいるといいなと思う。

・京都駅にベンチがない(あっても石のベンチ)で、設置提案をしたのがホームレス支援の人たちだった。「ベンチの思想」が良い。近所で、年配者の散歩補助をする活動が始まり思うようになったが、まちにベンチあるのとないのでは、歩きに出る回数が違うだろう。

・スタジオ収録だけでなく、ベンチに座っている人の声を収録して届けるのはどうか。昼間の声が真夜中に流れることになるので、合うかどうかには留意が残るが「置きベン」が具体化・インパクトになって伝わるのではないか。

この審議会の議事録は2023年10月27日から事務所で閲覧できるようにした。

この審議会の2023年10月27日からWEBサイトで公開した。